

活動名	13万人が動けば、子供の貧困・虐待をなくせる！ を実証する（フェーズ1）	団体名称	特定非営利活動法人 Mama's Café
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動目的	④子どもの居場所づくり
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
<p>「子育て困窮家庭」の相談世帯数は57世帯あり、そのうち22世帯を支援しました。活動の延べ時間は560時間。報酬（利用料）補助総額は、413,032円。</p> <p>主な援助（支援）内容は、託児・沐浴介助・病院等の付き添い・学校と自宅間の送迎。</p>		<p>2017.9/1.9/28.10/31 チェックリスト作成会議 2018.3.9 子育てネットワーク会議 2018.7.8 ママズ基金報告会 & 子どもの貧困勉強会 随時：スタッフ会議・ケース会議</p>	<p><チェックリスト作成会議> 有識者 越智祐子氏の助言のもと、仮のチェックリストの作成しました。</p> <p><子育てネットワーク会議> 関係機関で子育てネットワーク会議を開催し、活動の中間報告と情報交換並びに今後の方向性の確認しました。</p> <p><ママズ基金報告会 & 子どもの貧困勉強会> チラシを作成し、多くの市民に働きかけて実施。勉強会の講師には公益財団法人子どもの貧困対策センターあすのば評議員の幸重忠孝氏を招きワークショップを実施。</p> <p><スタッフ会議・ケース会議> 必要な時に随時実施。</p>
■活動目標	子どもの貧困・虐待の予防策として、子育てにつまずく「子育て困窮家庭」をファミサポの利用料負担で支援します。その実績と事例を集めて「ファミサポの利用料軽減」の政策提言をします。		
■長期成果	この町（多治見市）で、チャレンジするこのプロジェクトが成功するならば、必ず全国のモデルになります。何故なら、ファミリー・サポート・センターは全国にあるからです。「ファミサポ利用料負担」が制度化されれば、13万人の「子育て支援者の有効活用」になります。「子育て困窮家庭」の支援は、その川下にある「子供の貧困」「虐待」「DV」の予防策となります。		
活動風景			
 <p><支援の現場></p>		 <p><講演会。専門家を招いて実施しました></p>	
		 <p><新聞掲載。各種メディアに取り上げられました></p>	
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化	■得られたノウハウの共有・発信
<p><得られた成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭面で利用を躊躇したり、出来なかった家庭が利用できるようになった。 ・支援を受けることで孤独な育児にならず、親が安定して子育てができる環境をつくる事ができた。 ・活動実績を重ねることで、ファミリーサポート活動への理解や信頼が深まり、当初、消極的だった関係機関からの協力が得られるようになった。 ・1年目のSTEP1としての簡易チェックリストが作成でき、現場での判断指標ができた。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想以上に支援が多岐多種にわたり、より精度のあるチェックリストが必要と思われた。2年目も継続し、事例を集めてより良いものを作りたい。 ・ファミリーサポート活動では出来ない活動支援をどのようにサポートするか。（家事援助（買い物代行）や移動手段のない親子の移動援助） ・ファミリーサポートを知らない父親たちへの啓発 		<p><受益者の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子の託児をすることで親が仕事に行くことができ、就労実績が出来たことで保育園の時間外利用が認められ、より就労環境が整い収入増につながった。 ・親だけでは子どもと一緒にひきこもり生活だったが、支援で外遊びや支援センターなどを利用して託児をすることで子どもに社会経験をさせることができた。 ・孤独な育児にならず、地域に見守ってくれる・助けてくれる人がいるという安心感が生まれ地域社会とつながる1歩になった。 <p><地域社会の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> 平行して基金を立ち上げ、講演会や報告会を実施。それを取りあげたマスコミを通じて身近にも子育て困窮家庭が存在することを多くの市民が知ることとなり、事業への関心が高まった。 その関心が、多くの寄付やファミリーサポート援助会員への登録につながった。 	
〒507-0041 （住所）岐阜県多治見市太平町2-39-1 （団体名）NPO法人Mama's Cafe （ホームページ）：http://mamascafe-plus.com/		<p>助成金額 355,000円</p> <p>助成期間</p> <p>H29.9.1～H30.8.31</p>	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。